

2019年 中河内地区「夏の公開研修」報告

講座番号 (⑦)	講座名 「八尾支援学校の進路指導の取り組みについて」
日時	2019年8月1日(木)
講師	大阪府立八尾支援学校 教諭 北本一輝 先生

<講座の様子>

これまで、大阪府立八尾支援学校高等部の進路主事として、在学中および卒業後の進路指導に携わり、現在は高等部のクラス担任である北本先生に、八尾支援学校高等部の進路状況や大阪府下の障がい者雇用制度等について講義をしていただきました。

まず前半は八尾支援学校高等部について、1. 進路実績 2. 進路決定までの流れ 3. 進路決定のその後と3つの内容に沿ってお話がありました。1. 進路実績では、過去3年間の就職者数における同校中学部出身者と地域中学校出身者の割合に大きな差がないことや、生活介護をはじめとする障がい福祉サービスにおいても社会に出て働くという見方が大事であることを教えていただきました。2. 進路決定までの流れでは、高等部の特色でもある、在学中約4回に及び施設・作業所実習や企業体験実習を通して、3年間で本人と保護者が中心となって進路選択をすることをお話していただきました。3. 進路決定のその後では、進路を選択し決定することがゴールではなく、仕事等を続ける力、何かあっても対応できる力を身につけるためのスタート地点であると考えて指導をすることが離職させないために大切だと教えていただきました。

後半は、障がい者雇用の現状と今後の障がい者就労についてのお話でした。法定雇用率が2.20%に引き上げられたことを受けて障がい者を雇用する企業が増えている一方で、クローズとよばれる障がいを申告(各種手帳を提示)せずに一般雇用枠での採用希望者もいることなど、障がい者就労の現状について説明がありました。また、今後の障がい者就労において大切にしたいのは、就職できるような能力や技術の向上よりも、本人の働く意欲を育てることが就職率のアップにつながるということも説明していただきました。

地域の学校や支援学校中学部の教員が進路指導をする上で大切にしたい知識や考えを学ぶことができ、有意義な研修となりました。

